

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 生涯学習課

施設名称	[47] 東京都台東区立小島社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社		指定期間	H24. 4. 1 ~ H29. 3. 31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティーセンター等（計29件46施設）					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	（単位：百万円）		
	26年 65,096	51,076	14,020			
	27年 65,658	52,402	13,255			
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区小島1-5-2（都営小島ビル2F）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始（12/28～1/4）設備点検日					
(5)規模	ホール：100名（129㎡）第一和室：15名（57㎡）第二和室：30名（70㎡） 第一会議室：30名（51㎡）第二会議室：20名（25㎡）第三会議室：20名（25㎡）					
(6)人員体制	週40時間勤務 4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施、オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施					
(2)自主事業	4講座実施 延7回 延参加人員 55人					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	14,098,000	16,783,000	16,624,000	17,175,000	17,195,000
	利用料金収入	2,450,000	1,600,000	1,670,000	1,780,000	1,795,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,548,000	18,383,000	18,294,000	18,955,000	18,990,000
決算	委託料	14,098,000	16,783,000	16,624,000	17,175,000	17,195,052
	利用料金収入	1,664,050	1,762,605	1,801,150	1,824,550	1,742,890
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,762,050	18,545,605	18,425,150	18,999,550	18,937,942
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
年間開催日数	日	339	340	342	343	
自主事業等講座数	講座	17	14	14	15	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
利用率	%	35	34.8	32.9	33.2	
利用人数	人	24,500	24,915	24,042	23,861	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

館独自のサークルフェスタは18団体の参加、来館者627人の参加となった。オリンピック・パラリンピック生涯学習講座として「おもてなし語学」を開催したが応募者が14人で、20人の定員に満たなかった。また、講座「ものづくりのまち探検」が応募者が1名しかいなかったため中止になるなど課題も残った。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [1.9]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[1]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数等の目標達成	[2]		
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 管理経費の効率化	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	B	参加者の裾野を広げるために新しく企画した講座は、応募が思うように伸びず課題が残った。周知方法など工夫していく必要がある。
(2) 施設の維持管理	A	年度計画・月次工程を立て、点検等を実施し、必要な修繕を行っている。また、建物が古いので施設の老朽箇所を洗い出しし、速やかな是正処理を実施している。また、清掃を心がけ利用者に快適な環境を維持している。
(3) 利用者の満足度	A	受付窓口に蛍光灯スタンドを設置し、利用者が申請書等を記載し易いようにしているなど、利用者目線に立ったサービスを提供するよう努めている。
(4) 収入支出	A	利用収入は前年度と比較して、横ばいである。また、照明の部分消灯や裏紙印刷の励行をして節約に努める等、適切な予算執行に努めている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

要努力

サークルフェスタでは展示ケースの設置など事業運営の工夫を実施し、一定の評価があったが、利用者の裾野を広げるために、座禅や盆栽、ベリーダンスなど新しい講座を開催したものの、応募が予想を下回ったので、周知方法など工夫していく必要がある。

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

館独自のサークルフェスタを充実させることにより、利用サークルの活動を活性化させていく。また、引き続き館内を清潔に保つことに努め、利用者に快適な環境を提供していく。「ものづくりまち探検」の講座が応募者が少なく実施できなかったり、新しい企画の講座の応募が少なかったため、講座の内容や周知方法を更に工夫していく必要がある。